



ま ち の わ だ い



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！

10/1



飯田町長

地域おこし協力隊
岡田 大介さん

岡田 大介さん 地域おこし協力隊就任

協力隊とサッカー選手 二足のわらじ

地域おこし協力隊に、千葉県出身の岡田 大介さんが就任しました。岡田さんはJリーグ参入を目指す社会人サッカーチーム「北海道十勝スカイアース」の選手でもあります。

SNSなどを活用した地域情報の発信やイベントの運営を行うほか、町と連携協定を締結している北海道科学大学との協働プロジェクトの運営等に取り組んでいます。「幕別町の魅力をたくさん知るために、あちこちに足を運び、地域の方との関わりを深めて、みなさんに早く名前と顔を覚えてもらえるようにしていきたいです」と抱負を語りました。

10/2



町民見学会

忠類を楽しもう！

「町民見学会」を5年振りに開催しました。

今回の最大の目玉は、3月にリニューアルオープンした「忠類ナウマン象記念館」の見学でした。学芸員にナウマン象の歴史を丁寧に説明していただき、参加者は真剣に耳を傾けていました。その後は、「シーニックカフェちゅうるい」に向かい、あまりの絶景に歓声が湧き起こっていました。



9/10



忠類地域敬老会

和やかな雰囲気です長寿をお祝い

忠類コミュニティセンターで忠類地域公区長連絡協議会主催の「忠類地域敬老会」が開催され、約60人が参加しました。及川会長のあいさつや飯田町長の祝辞のあと、藤谷議員の乾杯の音頭で開会し、ステージでは忠類保育所による踊りやこぶし会による民謡の演奏が行われました。参加者はステージや食事を楽しみながら、歓談していました。



9/24



糠内小・明倫小役場庁舎見学

役場のお仕事ってなあに？

糠内小・明倫小の3、4年生9人が社会科の「公共施設」の授業の一環で庁舎見学に訪れました。

庁舎の隅々まで見学し、各部署の仕事の内容を説明すると、熱心にメモを取る姿が印象的でした。普段はなかなか立ち入ることのできない町長室に入ると、一人ずつ町長用の椅子に座って、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。



10/6



忠類どんとこいむら祭り

道の駅・忠類の特設会場で第29回どんとこいむら祭りが開催されました。約5,000人の来場者が、ゆり根や忠類和牛など、お目当ての品を求めて訪れました。津軽三味線石黒会による演奏のほか、美川 憲二さんによるものまねショーや出光 仁美さんによる歌謡ショーで会場は盛り上がりを見せました。一方、ステージの外では、町のマスコットキャラクターのパオくんが大人気で、「一緒に写真を撮ろう！」とたくさんの方が声を掛けてくれました。終盤には、お楽しみ抽選会やパンまきで、会場はさらに賑やかになりました。

まくべつ 産業まつり

百年記念ホール前の特設会場で第47回まくべつ産業まつりが開催され、約2万人の来場者が訪れました。

力強い豊穡太鼓で幕を開け、新鮮野菜の詰め放題コーナーには長蛇の列ができました。

ステージでは、幕別清陵高校の軽音楽部やまくべつジュニア・ジャズスクールによる演奏のほか、ものまねショーや歌謡ステージが会場を大いに盛り上げました。

名物「女子かぼちゃ投げ大会」では、定員の100人がエントリーする盛況振りで、力いっぱいにかぼちゃを投げる出場者に、「頑張れー！」と温かい声援が響きました。



10/20

9/28



防災講演会

真冬の危機に備えよう！

札内コミュニティプラザで「住みやすいまちづくりを考える会」による「防災講演会」が開催されました。この講演会は今年で8回目となり、150人をを超える参加がありました。

今年は北海道科学大学の細川准教授をお招きし、自分で自分の命を守るための心掛けについての講演をいただきました。

また、能登半島地震被災地での支援業務に当たった町職員による報告会も行われました。

9/29



忠類ナウマン象記念館講演会

動物園のゾウについて知ろう

忠類小学校から毎年かぼちゃを贈呈している円山動物園のアジアゾウについての講演会「円山動物園のゾウたちのいま～導入から5年、妊娠から出産まで～」が行われました。講師は飼育担当の鎌田 祐奈さん。現場で感じたことを交えながら、飼育方法の変化や「タオ」が誕生するまでの様子などをお話しいただきました。





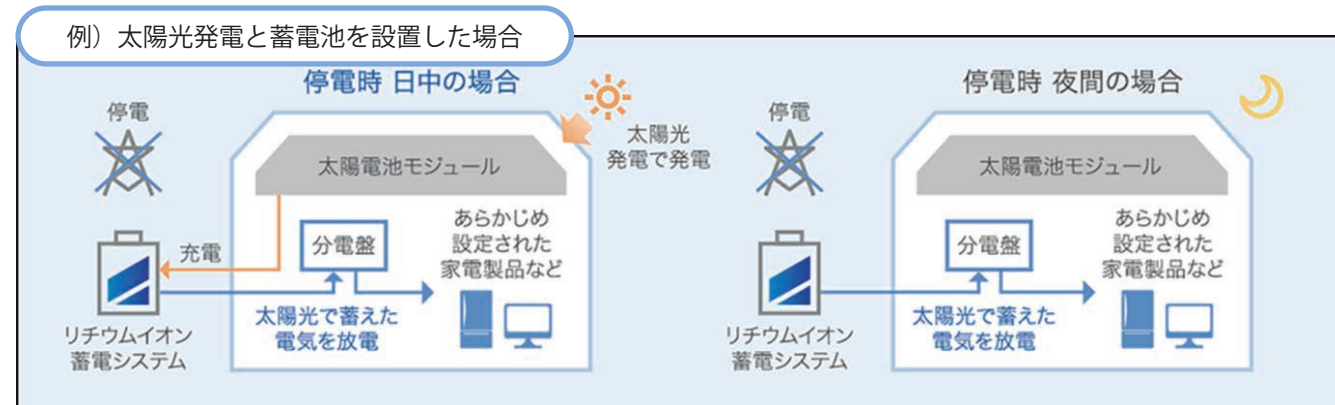
▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆幕別町ゼロカーボン推進総合補助金が活用できます！

幕別町では、家庭から排出される二酸化炭素量を削減することを目的とした高性能住宅、再エネ・省エネ機器の導入に対する補助制度を実施しています。10月号に引き続き対象となる機器を紹介しますので、家庭でのゼロカーボンに向けた取り組みを始めましょう。



出典：京セラ株式会社「太陽光発電と蓄電池の両方を設置するメリット・デメリットとは？」
<https://www.kyocera.co.jp/solar/support/topics/202404-solar-storage-merit-demerit/>

このように、停電時や災害時の非常用電源として、ためた電気で電化製品の使用が可能となったり、夜間に日中太陽光で発電した電気を使用することで、電気代削減効果が期待できるといったメリットがあります。町では太陽光発電や蓄電池の補助制度を実施していますので、活用を検討ください。

対象設備（代表的な機器）・要件	補助率	上限額
太陽光発電+定置用蓄電池 ※新規に設備を設置する住宅	1/10	30万円
定置用蓄電池 ※既に太陽光発電設置済みの住宅	1/8	17万円
HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）	定額	3万円

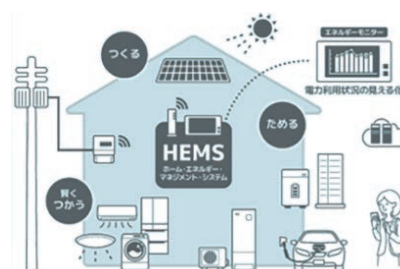
※対象機器はこの他にも、電気ヒートポンプ（エコキュート）、潜熱回収型ガス給湯暖房機（エコジョーズ）、潜熱回収型石油式給湯暖房機（エコフィール）などがあります。詳細については幕別町ホームページ「幕別町ゼロカーボン推進総合補助金」のページを確認、または防災環境課地域環境係へ問い合わせください。なお、募集期間は令和7年2月10日までですが、予算上限に達した場合は、申請の受け付けを終了します。

◆HEMSとは？

HEMSとは「Home Energy Management System（ホーム エネルギー マネジメント システム）」の略です。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムであり、家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりするものです。

HEMSの効果は？

住環境計画研究所による北海道の新築戸建住宅を対象にした調査では、ガスで**14%**、電気で**6%**、平均では**13%**の省エネ効果があることを確認しています。



テーマ 地震に備える②

部屋のレイアウト見直しや家具の転倒防止など、室内の地震対策をしましょう！

大きな地震が発生すると、家具が倒れる、食器が割れるなど、ケガの原因や避難の妨げになる可能性があります。



家具の転倒・落下防止対策はとても大事だね。

東京消防庁が実施した近年の地震被害調査では、負傷者の3～5割の方が屋内の家具類の転倒・落下・移動によって負傷していたよ！



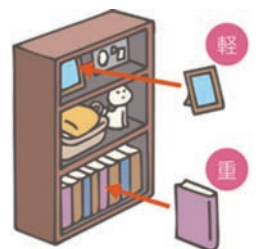
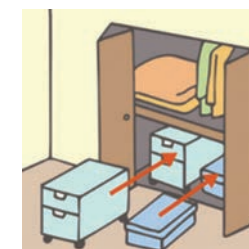
対策① 集中収納、収納方法を工夫しましょう！

＜集中収納＞

納戸やクローゼットなどに荷物を集中的に収納し、リビングや寝室など普段過ごすことが多い場所から荷物を減らす。

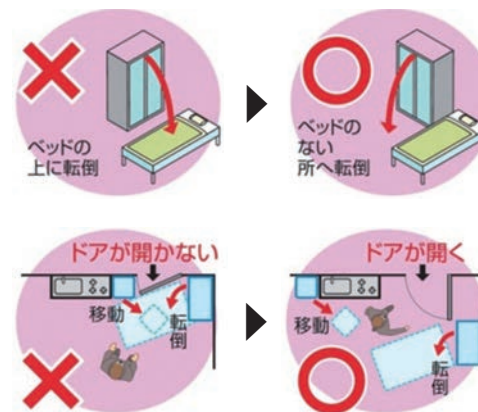
＜収納方法＞

棚などに荷物を収納する場合は、**重たいものを下に**収納することで倒れにくくする。



対策② 部屋のレイアウトを工夫しましょう！

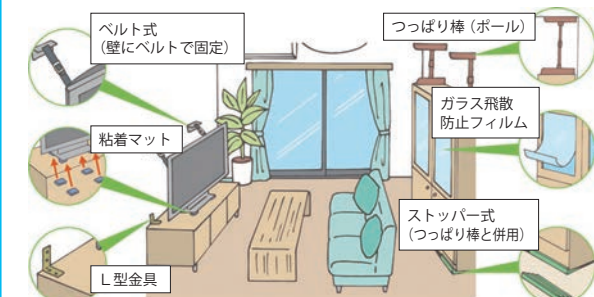
- ・寝る場所や座る場所の近くには、できるだけ家具を置かない。
- ・家具を置く場合は、向きを工夫する。
- ・通路や出入口付近には、「転倒しやすいもの」や「移動しやすいもの」を置かない。



記事の内容は、東京消防庁のホームページを引用しています。

対策③ 家具類の固定をしましょう！

- ・固定具で家具や家電を固定し、転倒・落下防止対策をする。（例：つっぱり棒やストッパーなど）
- ・家具を壁にネジで固定する。（例：L型金具など）
- ・家具のガラス部分にガラス飛散防止フィルムを貼る。
- ・食器棚など扉がある家具は、扉開閉防止器具を使用する。



◆ Check ◆

11月5日(火) 緊急地震速報訓練
11月20日(水) Jアラート試験
詳細は20ページで確認！



touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶防災情報メール

二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。



▶幕別町防災公式LINE

二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu